

公式LINEで毎号配信

エントリーで  
5千円相当が  
当たる!!

(エントリーフォームは不定期配信)



# 全厚労ニュース

全 国 労 働 組 合 連 合 会  
生 連

〒110- 東京都台東区入谷  
0013 1-9-5  
TEL 03-3874-3591  
FAX 03-3874-3593  
発行日 毎月20日  
<https://www.zenkouro.org/>

## 26春闘 全国で統一行動広がる

### 現場の声を力に、賃上げ・増員・地域医療を守るたたかい前進



山厚労・長門支部 ワッペンを胸につけてアピール



ガッツポーズで春闘がんばるぞ!

2026春闘は、3月12日の産別統一行動日を軸に、全国で大きく動き出しました。職場では決起集会やワッペン行動、早朝・夕方の宣伝行動が取り組まれ、街頭では「地域医療を守れ」「大幅賃上げを」の声が強くとびまわりました。

### 中央行動で現場の実態を国会・省庁へ

全厚労では3月4日「3・4中央行動（三単産共催）」の国会議員要請行動に参加し、診療報酬改定だけでは組合員の生活改善に追いつかない実態や、物価高騰に対応した継続的な支援の必要性を訴えました。参院厚労委員長らとの懇談では、現場の厳しさと制度改善の必要性を直接届けました。



小川克巳参院厚労委員長と(右から4番目)

### 3.12統一行動日

### 職場から街頭へ広がる春闘

統一行動日には、長野でスタンディング行動、静岡で支部会とワッペン闘争、三重で春闘決起集会、福島でビラ宣伝、熊谷・山口・香川・徳島・高知でワッペン闘争を行い、要求実現への意思を固めました。

茨厚労では、水戸支部が17時から45分間、役員5名で行動し、ニュース138枚を配布しました。退勤調査シール投票にも多くの協力が寄せられ、反応の良さが目立ちました。取手支部でもニュース100枚を配布し、団体交渉を受けた土浦支部の朝ビラ宣伝も、職場に春闘の熱を広げる行動となりました。

団体交渉でも前進が生まれています。秋田では年度末手当10万円、広島では一時金6万円とベア実施確約、徳島では一時金の上積み、茨城



茨厚労・水戸支部での様子

では補正予算原資を活用した月額4,800円相当の回答を引き出しました。

まだ道半ばではありますが、全国の仲間が声を上げ、行動したことが確かな成果につながっています。



退勤調査を頑張っています

### 組合員限定!

### 年2回以上のチャンス! LINEでLucky!

5000円分の  
クオカードや  
特産品をゲット!

全厚労公式LINEでニュースや各地の取り組み、イベント情報を配信中。組合員限定の懸賞企画もお見逃しなく。





# 終末時計残りわずか まだ巻き戻す時間は残されている

## 3・1 ビキニデー

幕巻進後の記念写真



全厚労は2月28日から3月1日にかけて日本原水協全国集会と被災72年2026年3・1ビキニデー集いに結集し、加盟組織から10県31名が参加しました。

28日の全体集会は「核兵器のない平和な世界への転換、憲法生かした非核平和の日本へ」のスローガンで、主催者挨拶で米山淳子代表理事は、「世界の運動と連動して、さらなる核廃絶のうねりを作ろう」と呼びかけました。「被爆者の訴え」では、日本原水爆被害者団体協議会事務局長の児玉三智子氏が自身の被爆体験を語り、その上で「憲法9条は変えてはいけない。戦争や核兵器が無い世界を目指し運動を継続しよう」と訴えると会場は拍手で包まれました。ア

メリカや韓国、フランスなどの海外代表からの発言もありました。1日のビキニデー集会には1700人が参加。来賓あいさつで中野弘道焼津市長は、「核兵器のない世界の実現は、私たちの共通の願いであり、共に平和運動を展開し、世界平和実現のため引き続き取り組んでまいります」と述べられました。他にも、広島市長、長崎市長からもメッセージが寄せられました。

### 平和だから働ける

分科会の時間は全厚労独自企画として、「全厚労ピース学習会」を開催しました。開会の挨拶で全厚労平和委員の井上宗学中央執行委員は「私たちは普段病院で働いていますが、平和であるから働けている、今日は平和について皆さんと学んでいきたい」と述べました。

今年の企画は、核廃絶のドキュメンタリー番組の鑑賞会。「終末時計」の針を押しとどめようと力になった二人の少女、佐々木禎子さん(被爆当時2歳)と、中村節子さん(被爆当時13歳)の物語です。

### 終末時計残りわずか

終末時計とは、アメリカの科学雑誌「プレティン・オブ・ジ・アトミック・サ

イエンティスツ」が毎年公表する人類滅亡までの時間を示す指標で、2025年版では残り「89秒(26年は85秒)」と過去最短としました。終末時計の残り時間は米国の著名な科学者らで構成する「科学安全保障委員会」が中心になり、過去約1年のさまざまな国際情勢を分析、リスク評価して決めています。今回の時刻決定について同誌や同委員会は「ロシアのウクライナへの侵攻による戦争が3年目を迎え、軽率な決断や偶発的な事故によりいっ核戦争が起きてもおおしくない状況だが、核を管理するプロセスは崩壊しつつある」と指摘。気候変動、AIのリスク、そして「核の脅威」が時計の針を進めました。記者会見にはフアン・マヌエル・サントス(元

6年ノーベル平和賞受賞)氏が出席し「広島と長崎への原爆投下から80年。時計の針を戻すために正しい選択をする時間はまだありません」と訴えました。

### 二人の少女の物語に涙

佐々木禎子さんは原爆の放射線障害による白血病で、12歳でこの世を去りました。禎子さんは最後まで生きる望みを捨てず鶴を折り続けました。この物語は世界各国で翻訳され、時と場所を

### ドクター山本晴義の心の相談室(18)



山本晴義先生

### 共感力を生かしAIを活用

働いていると「上司と親は選べない」と身をもって感じることもあるかもしれません。確かに、どのような上司の下で働くかは選べません。時には理不尽なことを言われたり、価値観の違いを感じる機会もあったりするでしょう。では、いっそのこと、上司がAI(人工知能)だったらどうでしょうか。AI上司は膨大なデータを瞬時に分析して最適な決定を行うために、従来の人間の上司だったら持つ感情や価値観に依存せず超え語り継がれ、知られることのなかった原爆被害の真実を世界に伝えることになりました。

中村節子(サーロー節子)さんは、被爆直後生き埋めとなりましたが奇跡的に生還。しかし、原爆で大切な姉と甥を亡くしました。戦後はアメリカ・カナダに移住し英語で原爆の被害を語りました。生々しく力強い言葉は核の恐怖を数字や理論ではなく人間の苦しみとして伝え、世界の人々の心を揺さぶりました。二人の願いは世界初の核兵器禁止条約の制定という形で実を結びました。節子さんはNGO「核兵器廃絶国際キャンペーンICAN」の一

に、データに基づいた意思決定がなされるはずですが、しかし、明治安田生命が今春社会人となる学生を対象にしたアンケートでは、「上司がAIであつてもよいか」の問いに、7割以上が否定的な考えを示し、「よい」と回答した人を大きく上回っていました。その理由としては「気持ちに寄り添ってほしい」という声が多くあげられています。また、「よい」と答えた人の理由としては「感情に流されにくい」「公平

な評価をしてもらえ」というものでした。新入社員は、期待と同時に不安やいっばいなこともあり、そのような気持ちに、上司に気がついて寄り添ってほしいと思うのかもしれない。寄り添ってもらえたことで自信がつけば、持っている力も発揮しやすくなりますし、チャレンジしようという気持ちにもつながります。

AI技術の進化は、これからさらに私たちの働き方に大きな影響を与えていくでしょう。しかし、AIに対抗するのはなく人間が本質的に持つ、独自の想像力や共感力、部下の未来の可能性を信じる力などを生かしていけばよいのではないのでしょうか。

### 伝えて広めよう

員として2017年ノーベル平和賞を受賞しました。上映会後の感想交流では参加者から、「一度じゃ分らないことが何度も参加することで分かることがあり」「50歳になつてから平和を学習し始めた。いろいろ平和について学習をした。子供や孫に戦争に出てほしくない。二度と戦争が起きないように。高市政権になって、憲法改正の議論が出ている。こういう機会に考えてほしい。自分に何ができたか考えたが、なかなか難しい。参加してもらえ人を増やしていくことが労働組合の役目かなと感じができました。

た」「ビキニ事件を知らなかった。とても勉強になった。今、戦争やアメリカのイラン空爆など、日本は唯一の被爆国として、戦争は良くないと世界に広めていくことが重要と感じた」「人々は、悲惨さを知って動いた。労働組合としても本質的なことで過去何が起ったか実相を知ることが重要。一方的な意見や、実相を知らないで、戦争に向かう世論がある。日本だけではなく世界中の人とつながっていると感じた」「放射線技師として、放射線ががんを直すことができる。原爆は使い方を間違っている。いい方向に使ってほしい」など発言があり、活発な交流ができました。

# 頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。第214回は徳島にお越し、不定期で全厚労専門部からも紹介します。



徳島 川端栄央弥さん

徳厚労からは、青年部を背負っていただいております、この方をご紹介します。

入職5年目の川端さんは、看護師として急性期内科病棟で勤務されています。親子ほどの歳の離れた私に非常に優しく接していただき、お母さん目線で「うちの息子もこんなに、優しくしたら…」といつも思います。看護学生さんにも、非常に適切に指導していて、素晴らしいと思います。いかなる時も患者さんや学生さん目線で考えて、その場その場で適切な態度や発言をしてくれています。

労組の活動にも積極的に参加をしてくださっていて、未来の徳厚労の先頭に立っていただきたいと思います。全国の皆さん、穏やかに優しい川端さんをよろしくお祈りします！

全厚労医療研運営委員会より伊藤智哉さんを紹介いたします。

医療研では「働きがい」をテーマにした第2分科会に長く関わって頂いています。役割や頼みごとを快く引き受けてくれ、最善の行動を起こしてくれる頼りになる存在です。

岐厚労でも組合公式LINEを活用した医労連共済の宣伝と申請ができるような仕組みを生み出し、誰も思いつかなかった画期的な方法に、いまや厚生連の垣根を越えて注目のマトとなっています。

いつも髪型がスッパリきまっていて格好いい伊藤さんですが、実は美容師の奥さんによるスタイリングだとか…。お酒と美味しいものが大好きな伊藤さん、今後も組合活動を楽しみながら一緒に運動していきましょう！



医療研運営委員  
伊藤智哉さん(岐阜)

当選者(読者の声掲載者含む)15名様に図書(クオ)カードを差し上げます。答えと本紙の感想などを添えて下記まで先へお送りください。当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。12月・1月号の答えは「サイオウガウマ」で、当選倍率は2・6倍(クロスワード・聞かせて、読者の声計30名当選)でした。

- ヨコのカギ
- 1 水戸黄門の……の御紋
  - 4 大河ドラマ……兄弟!
  - 7 度量が大きいこと
  - 9 十二支の2番目
  - 10 対義語は塩基
  - 11 食器をふく布
  - 12 Fで表す温度
  - 14 本を読むこと
  - 16 見物して回ること
  - 18 気が合う仲間、ナニが合う?
  - 20 酒井法子主演ドラマ「星の……」
  - 21 春の七草の一つ
  - 23 ドストエフスキーの小説「……と罰」
  - 24 市場の番人、公認……
  - 26 木の年齢が分かります
  - 27 ……物とは落とし物

## ザ・クロスワード

出題▶モロスミ勝

1	2	3	4	5	6
7			8	9	
	10		11		
12	13	14	15		
16	17		18	19	
20		A	21	22	
23		24		25	D
26	C		27		

答 A B C D E F

- 【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに?
- タテのカギ
- 1 サハラ砂漠がある大陸
  - 2 春の足……沙汰
  - 3 やせがえる 負けるな
  - 4 ……これにあり
  - 5 鬼のパンツは……の皮
  - 6 昔は江戸と言いました
  - 7 切手の穴は……目
  - 8 ギリシャ神話の地上最初の女性……の箱
  - 9 ……鳥はフェニックス
  - 10 ……あかつきを覚えず
  - 11 肉をいぶした保存食品
  - 12 幼虫に羽が生えること
  - 13 空室はありません
  - 14 油揚げ入りの……そば
  - 15 対義語は文系
  - 16 フルートは……楽器
  - 17 ……の上にも三年

## 読者の声

最低賃金1500円とか、1700円とか政治家は言っていますが、我々は全く変わらなず激務です。何とかならないものではないでしょうか。(茨城)

診療報酬アップを訴え続けた成果により少しアップしました。今後も賃金と同様に大幅増員を訴え続けていきたいと思います。(OG)

今流行りのシール交換を職場の栄養士達と楽しんでます。栄養科は人手不足で大変ですが、昼休みが良い気分転換になっています。(福島)

ちょっとしたコミュニケーションが働きやすさ向上につながりました!(H)

診療・介護報酬改定の内容が少しづつ明らかになってきました。他産業との賃金格差がどの程度縮まるか注目しています。春闘での要求頑張るぞ!(長野)

今年の診療報酬改定にかかる国費増はトータルで1200億円、一方、防衛費増は3300億円。4年前から比べると急激に3・6兆円増です。財政の方向が変われば、もつと賃上げできると思います。(MT)

ました。その分言葉でもだいたいすきと伝えました。伝わってたんだなと思うと嬉しくなりました。(三重)

日頃から「だいき」と言葉にして伝えてきた愛情が、娘さんの心にかかり届いていた証拠です。多忙な現場で働く私たちにとって、これ以上の活力はありません。素敵なエピソードをありがとうございます!(H)

に寄与することがありますよ。自分らしいリフレッシュを見つけていることができている素敵です☆(OK)

## 聞かせて・教えて!のコーナー

☆新年号で募集した「聞かせて・教えて」の結果発表☆

質問1 12号・1月合併号で一番興味があった面は?

最も票が集まったのは見開きカラーでうま年の組合員を紹介した1・8面42票。次いで医療研集会や財務省交渉について2・3面12票、定番面と「読者の声」拡大版の6・7面8票、全国キャラバンを振り返った4・5面5票でした。

質問2 「今年はウマくいく!私の目標」をお聞きました。仕事や活動でのポジティブな目標が沢山届きました☆(一部掲載)

ダイエットがウマくいく!40代でも資格合格予定/仕事も忙しすぎず、プライベートも充実して何事も「うまくいく」年に/新病院で勤務なので新しい業務などに対応していきたい/子育てと仕事の両立/学会にて研究発表をします/勉強会に参加する/新しい事にチャレンジする/貯蓄/効率よく仕事をして少しでも早く帰宅するぞ/労働環境改善/外国人実習生がやってきます。頑張っでコミュニケーション/今年こそは子どものピアノ発表会の連弾でミスしない!/月1回は登山に行きたいです。クマ対策しながらリフレッシュ/休肝日を作る

## さて、今回の「聞かせて・教えて!」は

質問1 3月号で一番興味があった面は?

A=1 B=2面 C=3面 D=4面

質問2 衆議院選挙ではYouTubeなどSNSの活用も盛んに行われました。投票先を選ぶ際に参考にしているものを教えてください。

A=SNS B=テレビ C=ニュースサイト・新聞 D=その他

## 労働組合用語集

メーデー: May day。5月1日に世界中で行われる労働者の祭典のことで、労働者の団結と権利を主張する日。1884年、アメリカの各労働団体が毎年5月1日にゼネラル・ストライキ(一企業や組織だけでなく全国的な規模で行うストライキ)とデモを行うことを決め、1886年に第1回目を決行。「8時間労働・8時間自由・8時間休憩」の実現を要求した。

## 教宣部のつぶやき

3年前に新車を買ったので、この3月に初め車検を迎える。その前にヘッドラ故障で12万円の凹むわ。保証年または6万キロ。愛車はすでに8万オーバー。保証対象外。凹むわ。春闘で気持ちを盛り上げるぞ!! (KU)



# 大幅賃上げ・増員で、地域医療を守って!

## 静岡、熊谷でのメディカルウェーブも好評

### 東海 すごいぞ東海ブロック! 活気あふれる街宣行動

26春闘もいよいよ本番です。全厚労各ブロックではそれぞれに集会を開催し、要求前進に向けた意思統一や宣伝行動を行っています。前号での西日本、三北に引き続き、東海と関信ブロックの取り組みを紹介します。

3月14、15日、全厚労東海ブロックは、静岡駅北口のレイアップ卸幸町ビル会議室にて、26春闘学習会を開催し4県から65名が結集、春闘の状況と診療報酬改正や社会保障の動向について学習と意見交換を行いました。2日目はメディカルウェーブ(街頭宣伝)を行い、「地域医療・介護を守れ」の声をあげました。



3月15日、東海ブロック4県60名の仲間が奮闘

初日は全厚労本部・大栗 かけました。陽書記長がこの間の活動と春闘方針を説明。私たちが現場から声をあげ続けてきたことが、世論を作り、国や自治体を動かしていると強調し、各県の奮闘を呼びかけました。



興味を持ってくれた通行人に説明する参加者

その後、中央社保協事務局長の林信悟さんが、「診療報酬改定の動向と社会保障の行方」のテーマで特別講演。現場からの運動が、財務・厚労大臣の最終折衝で30年ぶりに3%台の報酬引き上げをさせたこと、人件費・物価高へ対応した報酬の仕組みや期中改定の検討



グループワークで課題や状況を共有

最初に各県の秋闘や職場の取り組みを報告。茨城は、地域医療構想による医療体制の変化や組合員拡大の課題など



集会後の熊谷駅前宣伝行動

神奈川は、労働基準監督署の指導を受けた時間外労働の問題について、団体交渉を重ね、通知の修正など

熊谷は、年末一時金の最低水準について協定や、看護部の変則二交代勤務の協定締結など、労働条件改善に向けた取り組みを報告しました。

集会のまとめで、花澤直樹担当副委員長は「労働組合運動の基本に立ち返り、労働協約やベースアップの意義を学びながら、若い世代にも運動を広げていこう」と強調し、26春闘では賃上げと一時金の確保をめざし、職場からの取り組みを強めていくことを確認しました。集会後は、熊谷駅前の署名宣伝行動に繰り出し、30分で増員署名30筆を集めました。

### 関信 いま私たちが出来ること グループ討論で理解深める

2月21、22日、全厚労関信ブロックは26春闘討論集会を熊谷市男女参画推進センター「ハートピア」にて開催、4県25名が参加しました。県からの報告とグループ討論を通じて、情勢や職場の課題、組合活動等について理解を深めました。

正を実現した取り組みを紹介。実際の時間外労働や「黙示の指示」による残業も請求できることを確認し、職場全体への周知を進めています。

合員からは、「署名を書いてももらえると嬉しくなりました」「初めての参加ですが、こういう活動をしていることを知らなかった。次回も集まりました。」



子ども連れの家族も署名



数多くの方々から署名を集めました

グループ討議では、「職場の課題解決として取り組めること」をテーマに、看護現場の人員不足や職場の疲弊、若い職員の価値観の変化などについて話し合いました。一定時退職や有休取得を重視する声が強まる中、業務整理や委員会の見直しなど、職場の負担軽減につながる具体的な取り組みの必要性が確認されました。また人員不足の背景には賃金水準の他産業格差もあるとして、ベースアップの重要性も強調されました。さらに組合活動の強化に向けては、若い組合員に参加してもらい、自らの職場の課題を語り合う場をつくること、団体交渉に多くの組合員が参加し、現場の声を経営者に直接伝えていくことの大切さが共有されました。